

環境経営レポート

【レポートの対象期間 令和6年4月～令和7年3月】

東伸電機 株式会社

《ご挨拶》

地球温暖化や環境汚染など、地球規模の環境問題には、産業界も大きく関わっております。

環境問題を解決するためには、あらゆる規模。業種の企業が、環境や人類の将来を考えた事業活動を行っていくことが大切です。

私たちの会社は、配電盤 自動制御盤の製造を主体に行っております。高品質な製品を提供する従来の使命に加えて、今後は地球環境に対する負荷を軽減した経営を提案していくことが私たちの役割だと考えております。

この環境活動レポートを活用し、さまざまな角度からエコアクション21に取り組んでいきたいと考えております。

今後のご指導とご支援をお願い申し上げます。

東伸電機 株式会社
代表取締役社長
此川 哲雄

《目次》

1. 環境経営方針	P-1
2. 事業活動の規模	P-2
3. EA21推進体制	P-3
4. 環境経営目標とその実績	P-4
5. 環境経営計画の取組計画と評価	P-5
6. 環境関連法規制の遵守	P-6
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P-6

環境経営方針

〔基本理念〕

人間性に基づいた創造的活動に喜びを求め、その活動の範囲を限りなく拡大させることによって私達の生活を物心共に向上させ更により良い社会を作る責務を果たすことが私達の会社の理念です。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 節電、紙使用削減、エコ運転の実施で二酸化炭素の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制と再生利用に努めます。
4. 節水に努めます。
5. 環境に配慮した制御盤 配電盤の設計、製作に努めます。
6. 環境経営方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識の向上を図ります。
7. 環境に配慮した施工を行うことに努めます。

2025年 4月 1日 改訂

東伸電機株式会社

代表取締役 社長
此川 哲雄

2. 事業活動の規模

1. 事業【レポートの対象期間 令和6年4月～令和7年3月】

東伸電機 株式会社
代表取締役社長 此川 哲雄

2. 所在地

〒115-0042 東京都北区志茂5-37-13

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役社長 此川 哲雄
環境管理責任者 : 取締役 部長 長谷川 正美
担当 : 野海 四方
TEL : 03-3902-7181
FAX : 03-3902-2117

4. 対象範囲

東伸電機株式会社 全組織及び全活動

5. 事業の内容

自動制御盤 配電盤の製造

6. 人員、延べ床面積

人員	22人
延べ床面積	433m ²

7. 今期売上高

137,200 万円 (2024年度)

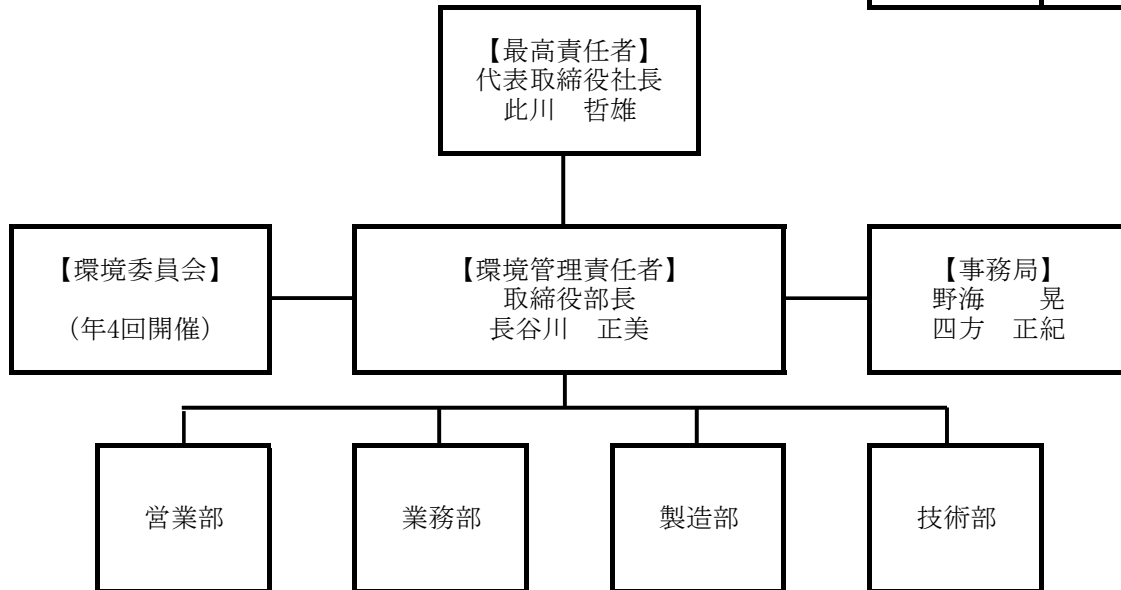
(2015年7月15日 作成)

(2016年4月15日 訂正)

6. エコアクション21 推進組織図

承認	作成
此川	四方

【レポートの対象期間 令和6年4月～令和7年3月】



職名	役割
最高責任者	<p>【代表取締役 此川 哲雄】</p> <p>①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。</p> <p>②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。</p> <p>③環境経営方針を制定する。</p> <p>④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境経営目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。</p>
環境管理責任者	<p>【業務部長 長谷川 正美】</p> <p>①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。</p> <p>②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。</p>
事務局	<p>【四方 正紀 ・ 野海 晃】</p> <p>①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。</p>
環境委員会	<p>最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、年4回環境管理責任者が召集する。環境経営目標の設定、環境経営活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。</p>

4. 環境経営目標とその実績

1. 環境目標とその実績

*購【レポートの対象期間 令和6年4月～令和7年3月】

環境目標	基準値	今年度目標				中長期の目標 (1年後)	中長期の目標 (2年後)
	2020年～2022年の平均	2024年				2025年	2026年
	実績	目標	目標値	実績	目標の達成状況	目標	目標
①売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂ /百万円)	55.3	3年間平均の実績に対して3%の削減	53.6	21.6	目標に対して59.6%削減できた	3年間平均の実績に対して4%削減	3年間平均の実績に対して5%削減
②売上高100万円当たりの廃棄物排出量の削減(kg/百万円)	4.0	3年間平均の実績に対して3%の削減	3.8	1.7	目標に対して54.8%削減できた	3年間平均の実績に対して4%削減	3年間平均の実績に対して5%削減
③従業員一人当たりの水資源投入量の削減(m ³)	10.4	3年間平均の実績に対して3%の削減	10	10.8	目標に対して8.1%増加した	3年間平均の実績に対して4%削減	3年間平均の実績に対して5%削減
④化学物質取扱及び管理の徹底	—	管理の徹底	管理の徹底	取扱量の把握	取扱量の把握ができた	管理の徹底	管理の徹底
⑤本業に関する目標(コピー用紙の削減)(枚数/百万円)	210.7	3年間平均年度の実績に対して3%の削減	204.4	99.5	目標に対して51.3%削減できた	3年間平均の実績に対して4%削減	3年間平均の実績に対して5%削減

※二酸化炭素の総排出量:33,257 kg-CO₂

5. 環境経営計画の取組みと評価

*2024年4月～2025年3月の1年間の活動の取組みと評価をしております。

環境経営計画	環境経営計画の取組結果とその評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 ①空調温度適正化・表示 ②照明不要時のOFFの推進 ③エアコン清掃の実施 ④エコドライブ推進 ⑤社用車の点検・整備	売上高が大幅に今期発生したため、大幅削減を達成できた。使用量だけを単純に比較すると前期よりも減少しているため、満足のいく結果になった。
	次年度の取組内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関を使った移動の促進 ・夏場はできるだけ窓を開けてエアコンの使用を極力避ける。 ・冬場は残業をできるだけ少なくしてしてエアコンの使用を抑える。
2. 廃棄物排出量の削減 ①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③産廃業者との契約書の確認 ④裏紙使用ルールの徹底	廃棄物も売上高が大幅に今期発生したため、大幅削減を達成できた。しかし、前期よりも使用量だけを比較すると微増していたので、引き続き削減できるように努めていきたい。
	次年度の取組内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルしやすいよう紙類などの分別を徹底し、排出削減に努める。 ・使用できる物はできるだけ使用して廃棄物の削減に努める。
3. 水資源投入量の削減 ①毎月のメータの確認(漏水防止) ②節水表示(手洗い場・トイレ) ③トイレの節水	8.1%の増加 水使用量は、目標を達成することができなかった。打合せを行い、どのように節水していけるか話し合う必要があると感じた。
	次年度の取組内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・水漏れがないか目視で定期的を確認する。 ・節水できる製品等があれば積極的に導入する。
4. 化学物質取扱及び管理の徹底 ①取扱量の把握 ②シンナーは必要なだけ工場内で保管 使用	管理の徹底をして、取扱量の把握ができた。
	次年度の取組内容
	引き続き管理の徹底をして、適切な取扱いに努める。
4. 本業に関する目標 ①用紙の使用削減	コピー用紙も大幅に削減できた。使用量も前期よりも5000枚以上減らせたので、引き続き削減に努めていきたい。
	次年度の取組内容
	裏紙の在庫が増加しているため、なるべく裏紙を使用するように再度促していきたい。

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社【レポートの対象期間 令和6年4月～令和7年3月】

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
下水道法	法定検査実施	遵法
労働安全衛生法	健診等実施	遵法
消防法	保守点検実施、法定検査実施	遵法
廃棄物処理法	マニフェストの交付 交付状況届	遵法
フロン排出抑制法	法定検査実施	遵法
家電リサイクル法	家電の適正廃棄	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2024年12月2日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

売り上げ目標に対し、200%を超える受注となっているが、環境経営目標に対して削除ができている。社員全体で削除に取り組んでいる結果と考え感謝している。今後も、廃棄物等の排出量の削減に取り組んでゆくことを目標にし、社内で削減可能なことを話し合っ

環境目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況確認シート

【レポートの対象期間 令和6年4月～令和7年3月】

評価内容	期間(2024年4月～2025年3月)
評価実施日	2025年4月9日
報告者	野海
環境管理責任者	長谷川

No.	環境目標	今年度の目標	項目	目標と実績				1年分総括 環境目標の達成状況及び環境活動の実施状況の評価
				3年間平均年実績(基準年)	今年度目標値	今年度実績	削減率(%)	
1	売り上げ100万円当り 二酸化炭素排出量の削減	3年間平均の実績に対して 3%の削減	電力使用量	32,357	31,387	25,967	-17.27	59.6%の削減達成。 売上が大幅に今期発生したため、大幅削減を達成できた。使用量だけを単純に比較すると前期よりも減少しているの、満足のいく結果になった。
			ガソリン	6,252	6,065	3,673	-39.44	
			合計(kg-CO ₂)	38,610	37,452	29,640	-20.86	
			売上高	698	-	1,372	96.47	
			合計(kg/百万円)	55.3	53.6	22	-59.6	
2	売り上げ100万円当り 廃棄物の削減	3年間平均の実績に対して 3%の削減	一般廃棄物量	2,770	2,686.4	2,353	-12.4	54.8%の削減達成。 廃棄物も売上が大幅に今期発生したため、大幅削減を達成できた。しかし、前期よりも使用量だけを比較すると微増していたので、引き続き削減できるように努めていきたい。
			合計(kg)	2,770	2,686.4	2,353	-12.4	
			売上高	698	-	1,372	96.47	
			合計(kg/百万円)	4.0	3.8	1.7	-54.8	
3	従業員1人当り 水資源投入量の削減	3年間平均の実績に対して 3%の削減	排水量(m3)	232	225.4	238.0	5.6	8.1%の増加。 水使用量は、目標を達成することができなかった。打合せを行い、どのように節水していけるか話し合う必要があると感じた。
			従業員数	22	-	22	0.0	
			合計(m3/従業員数)	10.4	10.0	10.8	8.1	
4	化学物質取扱 及び 管理の徹底	取扱量の把握					管理の徹底をして、取扱量の把握ができた。	
5	本業に関する 目標(コピー用紙の削減)	3年間平均年度の実績に対して 3%の削減	用紙使用量(A4枚数分)	147,167	142,752	136,500	-4.4	51.3%の削減達成。 コピー用紙も大幅に削減できた。使用量も前期よりも5000枚以上減らせたので、引き続き削減に努めていきたい。
			売上高	698	-	1,372.0		
			合計(kg/百万円)	210.7	204.4	99.5	-51.3	

環境目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況確認シート

【レポートの対象期間 令和6年4月～令和7年3月】

評価内容	期間(2024年4月～2024年9月)
評価実施日	2024年10月25日
報告者	野海
環境管理責任者	長谷川

No.	環境目標	今年度の目標	項目	目標と実績				半年分総括 環境目標の達成状況及び環境活動の実施状況の評価
				3年間平均年実績(基準年 半年分)	今年度目標値(半年分)	今年度実績(半年分)	削減率(%)(半年分)	
1	売り上げ100万円当り二酸化炭素排出量の削減	3年間平均の実績に対して3%の削減	電力使用量	17,958	17,419	12,467	-28.43	46.3%の削減達成。 大幅に削減することができた。売上高が例年より多かったにも関わらず、特にガソリンの資料量が少ないことが削減要因としてあげられる。
			ガソリン	1,347	1,307	700	-46.45	
			合計(kg-CO ₂)	19,305	18,726	13,167	-29.69	
			売上高	220	-	289	31.17	
			合計(kg/百万円)	87.7	85.1	45.6	-46.3	
2	売り上げ100万円当り廃棄物の削減	3年間平均の実績に対して3%の削減	一般廃棄物量	1,410	1367.7	1085.5	-20.6	39.3%の削減達成。 こちらも大幅に削減することができた。後半もこのままの数字を維持していきたい。
			合計(kg)	1,410	1367.7	1085.5	-20.6	
			売上高	220	-	289	31.17	
			合計(kg/百万円)	6.4	6.2	3.8	-39.3	
3	従業員1人当り水資源投入量の削減	3年間平均の実績に対して3%の削減	排水量(m3)	116	112.7	120.0	6.5	9%の増加。 水道の使用量は、増えてしまっていた。社員の節水意識はあると感じるので、どうして増加してしまったのか考えていきたい。
			従業員数	22	-	22	0.0	
			合計(m3/従業員数)	10.4	5.0	5.5	9.0	
4	化学物質取扱及び管理の徹底	取扱量の把握					管理の徹底をして、取扱量の把握ができた。	
5	本業に関する目標(コピー用紙の削減)	3年間平均年の実績に対して3%の削減	用紙使用量(A4枚数分)	73,583	71,376	64,500	-9.6	31.1%の削減達成。 こちらも大幅に削減することができた。ここまで削減できたことはなかったと思うので、大変嬉しいと思う。
			売上高	220	-	289		
			合計(kg/百万円)	334.5	324.4	223.5	-31.1	